

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム神楽の里
日付	平成18年2月10日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での相談援助業務歴31年、家族介護歴13年、介護支援専門員歴3年 特別養護老人ホームでの認知症高齢者介護歴3年
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします) まだリンク先はありません。	
評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります！)	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームは市街地から少し離れた小高い丘に位置し、見晴らしもよく、夏には庭から恒例の「商店街の打ち上げ花火」を見ることができます。 ・ホーム内は木材が多く使われ、奥行きもあり、広いホームの中央にあるリビングの天井は高く、天窓や大きな木材の梁が見え、炬燵のある畳コーナーもあり、「和」の雰囲気を感じる落ち着きがありました。 ・リビングには日が良く差し込み、明るく、随所に植木や鉢植えの花が置かれ、季節感を感じることができるように工夫されています。玄関の様子や庭の様子も良く見えて開放的です。 ・平成17年12月初め、家族会が発足しました。入居者・家族・職員との交流が深まり、今後の支援活動に発展することを考えられていました。 ・管理者を中心に、職員がチームワークを組んで、協力し合っているアットホームな感じを強く受けました。 ・昨年の要改善事項について、事業者・職員は話し合って改善されていました。(トイレの便座は、入居者が使いやすい高さの便座に取り替えられていました。)
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の調査において、特に改善を要する事実は見受けられませんでした。

運営理念

番号	項	目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有			
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。			
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者に「悔いのない人生」を送っていただけるよう、入居者一人ひとりが大切にされ、家族的な環境の中で、心地よく過ごしていただくことをめざしています。 ・毎日の生活の中で、入居者の気持ちに寄り添いながら、入居者自身のできることや役割を模索できるような、ゆきとどいた介護をしたいと考えています。 				

ケアサービス(つづき)

番号	項	目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援			
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮			
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援			
20	プライドを大切にした整容の支援			
21	安眠の支援			
22	金銭管理と買物の支援			
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保			
24	心身機能の維持			
25	トラブルへの対応			
26	口腔内の清潔保持			
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応			
28	服薬の支援			
29	ホームに閉じこもらない生活の支援			
30	家族の訪問支援			
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。			
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活の中で、自然に営まれる入居者の自発的な活動を、職員は見守りながら支援しています。例えば、朝起きて、カーテンを開けること・食事の用意への手伝い・盛り付け・片付け・掃除など、無理をしない自発性を尊重しています。 ・入居前の生活歴や仕事、趣味などをお聞きし、入居者一人ひとりが、ホーム内で何らかの役割を持ち、継続した経験ができるよう取り組んでいます。 ・個人情報保護の観点から、プライバシーに配慮し、面会簿の記入用紙は1枚ずつとし、記入後すぐに事務所に回収しています。 ・入居者についての問合せは、家族のキーパーソンから、「回答の言葉」を文章でいただいて、職員はその通りに伝えていきます。 				

生活空間づくり

番号	項	目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり			
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり			
4	建物の外周や空間の活用			
5	場所間違い等の防止策			
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。			
<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の確実な情報伝達を行い、対応の統一をはかることが、入居者の不安の軽減に繋がっていると考えています。 ・入居者と職員の馴染みの関係を大切にしています。新入職員の勤務の時には、熟練職員と勤務が重なるように勤務配置を行い、早く馴染みの関係が作れるように配慮しています。 ・職員自身が落ち着いて入居者にゆっくり話しかけ、常に見守り、何か起これば、すみやかに対応できることが大切と考えています。 ・共用スペースで話す内容には、職員間でよく検討し、不安を起こさないように配慮しています。 				

運営体制

番号	項	目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映			
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ			
33	家族への日常の様子に関する情報提供			
34	地域との連携と交流促進			
35	ホーム機能の地域への還元			
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。			
<ul style="list-style-type: none"> ・同一法人内のグループホームの管理者と連絡を取り合い、サービスの向上に努めています。 ・家族からの意見・要望を職員全体で共有できるように申し送りを徹底するように努めています。 ・熟練した職員の気づきをケアサービスの質の向上に活かせるように、日頃から職員同士の話し合いを欠かさず、常にちょっとした助言をできるような環境づくりに取り組むことを考えています。 ・ヒヤリハット報告書を職員間で話し合い、対策を検討しています。 				

ケアサービス

番号	項	目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映			
7	個別の記録			
8	確実な申し送り・情報伝達			
9	チームケアのための会議			
10	入居者一人ひとりの尊重			
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ			
12	入居者のペースの尊重			
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援			
14	一人でできることへの配慮			
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫			
16	食事を楽しむことのできる支援			